

おんどくプリントその84

わたしは かつて 犬の ポチに
いつも いたずらをしていた。

えさを あげなかったり、 ぼうで つついたり。

ある日 いつもの ように いたずらを

していたら、 とつぜん ポチが ぶつかってきた。

「うわあ！」

気がつくと わたしは ポチに なっていた。

ポチは わたしに なっていた。

にんげん に なった ポチは 犬になっ

わたしを じっと みていた。

わたしは (いじわる される！)とおもった。

しかし、 人になっ た ポチは わたしの

あたまを やさしく なでてくれた。

わたしは なみだを ながし、 はんせいした。

きがつくと 人げん に もどっていた。

もんだい はんせいしている わたしの

きもちを かんがえよう

こたえ